

「平成25年度 医学部生招へい事業」を実施しました

進路指導部

去る9月17日15:50より本校4階英語教室で、今年度の医学部生招へい事業を実施致しました。今年度の講師は、本校卒業生の北海道大学 医学部医学科 4年 松本嶺くんにお越しいただき、「北海道大学と医学生」という演題で講義をいただきました。

対象は医学部志望者で看護、理学療法などの志望者も含めて、本校生徒 1年生16名、2年生18名、3年生8名（医学科志望者は21名）が聴講しました。

講義は、以下4つの構成をもとに進められました。

1. 北海道大学と医学部の紹介
2. 医学部の勉強内容
3. 高校時代の勉強内容
4. 事前質問への回答

まず、北海道大学の概要説明があり、続いて医学部の構成、さらに詳しく看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学・作業療法学専攻について、具体的な差異などの話であり、生徒はとても分かりやかったと思われています。また、学内における部活動やサークル活動については、医学部生の特徴や、医学部以外の学生との年間スケジュールの違いなど、より具体的な話が聴けました。勉強以外の活動について、遊びやアルバイトなど、学生生活を垣間見ることができました。

医学部の勉強内容では学年ごとのコース制や試験、生化学や解剖学について詳しく説明していただき、苦労話も交えた興味深いものとなりました。大学の講義で実際に使用している電話帳のような分厚い教科書も見せていただき、こんなに勉強するものなんだと生徒たちは驚いていました。

自身の高校時代の勉強内容についても、教科書に載っていることを完璧にすることや、反復練習の必要性、予習により授業の理解がしやすくなる、楽しくなる工夫を、など1、2年生の時と受験期における勉強法を、反省点も含めて話していただき、生徒は勉強をする気になったようです。

事前質問への回答もたくさんしていただき、疑問点が明確になり、とても有意義な時間となりました。

生徒の事後アンケートにおいても、今回の講演は、とても参考になったという生徒がほとんどで、これからの進路、学習に対する意欲も相当上がったようで、先輩の講話に対する感謝の言葉もたくさん見られました。

講義終了後も生徒が講師のところに行き、追加の質問を行っていました。

進路指導部の今後の企画としては、12月に高校生メディカル講座（後期）を予定しております。

以下は事後アンケートから、聴講した生徒の感想を記載致します。

「医学部のことがよくわかりました。想像以上に医学部は大変なんだなあと思いました。」
「たくさんの科目から興味のある科目を選ぶのは、高校までの勉強とは全く違う。やはり、大学は自分からどんどん勉強していかないといけないことを改めて感じた。」

「医学部での学年ごとの勉強内容や、普段の生活の様子などを聴くことができ、とてもモチベーションが上がりました。」

「大学の仕組みや部活動、入試など、今まではぼんやりとしか分かっていなかったことを細かく丁寧に教えていただけて、とても参考になりました。」

「医学科だけでなく、理学療法や看護学のことを説明してくれて分かりやすかった。また、基礎医学や解剖学のことを詳しく教えてくれた。大学生の目線で説明してくれたので、新鮮だった。」

「私にもできる勉強方法を教えてもらえたので、これからやってみたいと思いました。」

《 講義中の様子 》

